

平成 28 年 1 月 12 日(火)

報道各位

株式会社エフエムあやべ

## 戦後 70 周年～二度と繰り返さないあの悲劇を～

### 特別番組放送のご案内

昨年は戦後 70 年、被爆 70 年、また綾部市が日本初の世界連邦都市宣言を行って 65 周年の年でした。

FM いかるでは、世界連邦都市宣言 65 周年を期に、昨年 7 月から 9 月にかけて、広島で原爆に遭われた綾部市民や、終戦後、極寒の地シベリアで抑留され、毎日死と隣り合わせの生活を余儀なくされた綾部市民の取材を行いました。これらの取材に加えて、昨年、遺骨収集に参加された戦争遺族の熊内洋子さんと東部ニューギニア慰霊巡拝に参加された大槻昭子さんをゲストにお招きし、戦後 70 年の今も残る戦争の記憶を伝える特別番組を放送します。

つきましては、番組の概要をご案内しますので、取材等格別のご配慮を頂ければ幸いです。

#### **番組名：特別番組 戦後 70 周年～二度と繰り返さないあの悲劇を～**

**番組目的：**戦争体験のない世代が増えている今、戦争とは何か、当時の様子を市民の目線から伝えるとともに、全国に先駆けて平和宣言を行った綾部から恒久平和のメッセージを発信する。

**放送日：**1 月 16 日（土）15:00～17:00 **2 時間生放送**

**出演者：**熊内洋子さん（綾部市遺族会：綾部市在住）73 歳

大槻昭子さん（綾部市遺族会：綾部市在住）73 歳

真下加奈子（FM いかるパーソナリティ）

**取材・構成：**真下加奈子

---

お問い合わせ

株式会社エフエムあやべ 井関・真下

(TEL) 0773-42-9988 (FAX) 0773-42-9977 (mail) info※fmikaru.jp

## 番組内容

### 取材① 幻の卒園式

昭和 20 年当時、綾部町立綾部幼稚園は、戦火が激しくなり 7 月 10 日から閉園となりました。昭和 20 年度入園生は当時卒園式を実施することができませんでした。2015 年戦後 70 年の節目の年に、綾部幼稚園 幻の卒園式が 7 月 25 日（土）、70 年ぶりに実施されました。



70 年ぶりの卒園式（綾部幼稚園）

### 取材② シベリア抑留された原田二郎さん

原田二郎さん（綾部市安国寺町在住 91 歳）は、昭和 20 年 8 月 15 日以降、ロシア軍にシベリアで抑留されました。20 歳から 24 歳までの 4 年間抑留され後、昭和 24 年 11 月舞鶴港に引揚されました。2001 年に他界された三波春夫さんともシベリア抑留時に苦楽を共にされたそうです。



当時の写真を眺める原田二郎さん

---

お問い合わせ

株式会社エフエムあやべ 井関・真下

(TEL) 0773-42-9988 (FAX) 0773-42-9977 (mail) info※fmikaru.jp

### 取材③ 被爆体験者 芦田晃さん

福知山市の芦田晃さん（90歳）は昭和20年8月広島で被爆。京都府原爆被災者の会に所属し、語り部として被爆体験を伝えられています。芦田晃さんは、高校教師として定年を迎えられた後、年に数回、地元の中学や高校でも当時の体験を伝えられています。

### 取材④ 被爆体験者 梅原康さん

綾部市神宮寺町在住の元高校教諭、梅原康さん（91歳）は、昭和19年に広島文理科大学物理学科に進学し相対性理論や量子力学を研究。原子爆弾が投下された8月6日は爆心地から1.6キロメートルの大学図書館にいました。その体験を昨年、冊子「蒼白い閃光」にまとめられました。



体験談「蒼白い閃光」を手に梅原康さん

### ゲスト① 熊内洋子さん

熊内さんのお父さんはビスマルク諸島のブーゲンビル島で昭和19年3月に36歳で亡くなりました。そして、平成26年にビスマルク諸島への慰霊の旅に行かれています。現地では遺骨収集作業や表敬訪問、現地追悼式への出席をされました。また、現地に一時保管されているご遺骨を確認し焼骨、日本への送還をされました。

### ゲスト② 大槻昭子さん

一番上のお兄さんは戦病死、二人目のお兄さんは、飛行士として、東部ニューギニアで戦死されました。大槻さんにとって、戦死されたお兄さんは20歳年の離れていたため、記憶にはありませんが、遺骨を引き取りに行ったことは鮮明に覚えています。骨箱には骨は入っておらず、紙だけが入っていました。

---

お問い合わせ

株式会社エフエムあやべ 井関・真下

(TEL) 0773-42-9988 (FAX) 0773-42-9977 (mail) info※fmikaru.jp